

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公開番号】特開 2011-11465 (P2011-11465A)
 【公開日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-003
 【出願番号】特願 2009-157918 (P2009-157918)
 【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

互いに圧接した 2 本のローラー間に支持体を通過させて、該支持体の少なくとも一方の表面に無機微粒子とバインダーとを含有する塗工液を塗工し、該支持体の少なくとも一方の表面にインク受容層を形成する工程を有するインクジェット記録媒体の製造方法であって、

該バインダーは、重量平均分子量 100 万以上のポリアクリルアミド樹脂を含有し、該ポリアクリルアミド樹脂がノニオン性ポリアクリルアミド樹脂及びカチオン性ポリアクリルアミド樹脂から選択される少なくとも一種を含有し、

該塗工液中の無機微粒子の含有量を A 質量部、ポリアクリルアミド樹脂の含有量を B 質量部としたときに、

$$30 \leq (B/A) \times 100 \leq 100$$

となることを特徴とするインクジェット記録媒体の製造方法。

【請求項 2】
 該無機微粒子が非晶質シリカである請求項 1 に記載のインクジェット記録媒体の製造方法。

【請求項 3】
該ポリアクリルアミド樹脂の重量平均分子量が 1000 万以下である請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録媒体の製造方法。

【請求項 4】
 該塗工液がインク定着剤を含有する請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載のインクジェット記録媒体の製造方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0009】

即ち本発明は、互いに圧接した２本のローラー間に支持体を通過させて、該支持体の少なくとも一方の表面に無機微粒子とバインダーとを含有するインク受容層用塗工液を塗工し、該支持体の少なくとも一方の表面にインク受容層を形成する工程を有するインクジェット記録媒体の製造方法であって、該バインダーは、重量平均分子量１００万以上のポリアクリルアミド樹脂を含有し、該ポリアクリルアミド樹脂がノニオン性ポリアクリルアミド樹脂及びカチオン性ポリアクリルアミド樹脂から選択される少なくとも一種を含有し、該塗工液中の無機微粒子の含有量をＡ質量部、ポリアクリルアミド樹脂の含有量をＢ質量部としたときに、 $30 \leq (B/A) \times 100 \leq 100$ となることを特徴とするインクジェット記録媒体の製造方法である。